

緊急点検表

地震や台風後の防球網の簡単診断です。災害後の施設利用前に○×で点検確認してください。

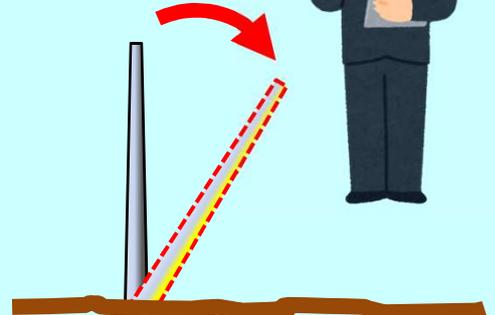
裏面も見てね！



質問 ① 主柱が大きく傾いている

右絵のような大幅に傾いている

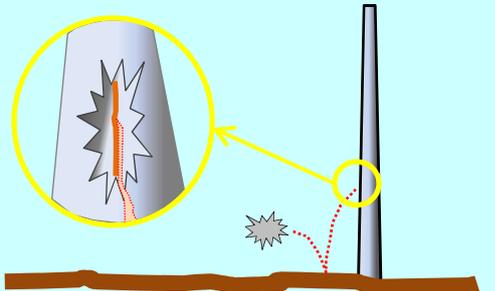
○ ×



質問 ② 柱のひび割れ (PC柱)

主柱がひび割れてコンクリートがはがれ落ちている(内部鉄筋が露わになっている)。

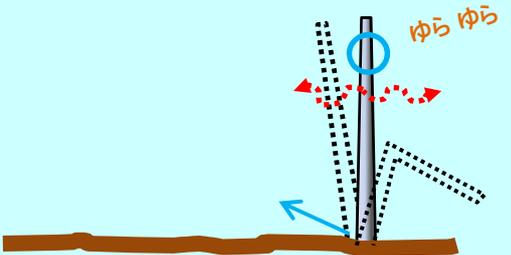
○ ×



質問 ③ 鋼管柱が曲がっている

主柱の根元が折れている。
又は、中間から変形して曲がっている。

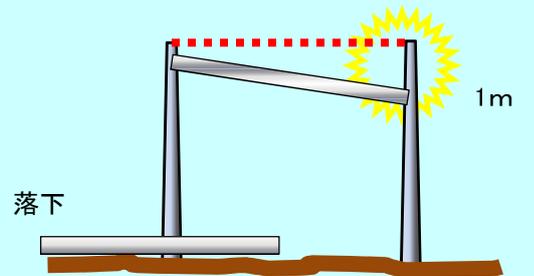
○ ×



質問 ④ ジョイントビームが傾いている

ジョイントビームが傾いて、概ね1m程度傾いている(平行にずれている、落下している場合も○)。

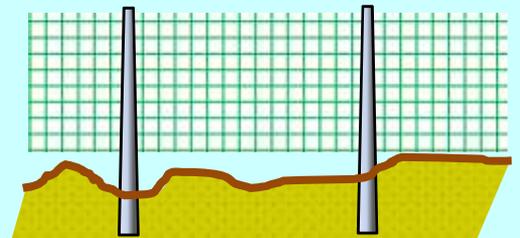
○ ×



質問 ⑤ 地面が隆起している

土砂の流出や液状化により地面が隆起し、防球網の基礎や根入れ部分が露出している。

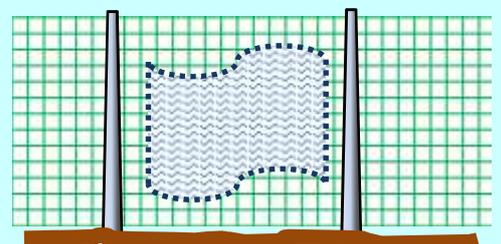
○ ×



質問 ⑥ 飛散物が網に引っかかっている

飛散物(シート物、波板等の風を通さないもの)が網に付いて撤去することができない。

○ ×



第4章 4-2

【 緊急点検結果の解説 】

表紙でおこなった緊急点検後の対応をここで説明します。

○×による対処方法は下の図になります。

① ② ③ ⑤ に○がある場合

施設管理者と専門業者に連絡してください。危険度が高いので施設内は防球ネットの高さ分のエリアを立入禁止エリアとしてください。また、施設外に人や住宅がある場合は避難勧告を行ってください。

④ に○がある場合

施設管理者に連絡してください。防球ネット付近3mは立入禁止エリアとしてください。

⑥ に○がある場合

施設管理者に連絡してください。可能であれば飛散物を取り除いてください。
状況が悪化する場合は飛散物の反対に位置する人に避難勧告を行ってください。

※災害時には連絡が取りにくくなることが想定されます。その場合は現場の判断で使用可能エリアの設定をお願いします。可能であれば防球ネットが転倒した場合を想定した危険エリアを設定し、人の流れや車両等の出入りを規制してください。

※防球ネットの緊急点検は、避難行動が一段落し、安全確保ができてから行ってください。また、状況の説明や今後の対策の確認を下記連絡先に行う場合は、現場状況写真等資料を事前準備しておいてください。

※緊急時の為に施設管理者や防球網専門業者の連絡先を記載しておくことで慌てずに対応できます。

施設管理者連絡先

防球ネット網専門業者